

第6学年 国語科

教科目標

- ① 目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てます。
- ② 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てます。
- ③ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てます。

学習計画

月	単元・教材名	時数	書写	学習活動
4	○ 想像を豊かにして「語り」をしよう			
	・ 風切るつばさ	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」をする。 ・ 「語り」を聞き合い、感想を伝え合う。 ・ いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考えて書く。 ・ 三字以上の熟語の構成を理解する。
	・ 図書館へ行こう	3		
	・ 表現をくふうして書こう	3	2	
・ 熟語の構成を考えよう	2			
5	○ 自分の考えを明確にしながらかきながら読む			
	・ イースター島にはなぜ森林がないのか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えをもつ。 ・ 根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話す。 ・ いろいろな補助動詞があることを知り、それぞれの働きや意味を理解する。
	・ 学校の良さを宣伝しよう	3		
	・ 動詞にそえて使う言葉に目を向けよう	2	4	
6	○ 物語が強く語りかけてきたことを考えながらかきながら読む			
	・ ばらの谷	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめる。 ・ 複数の意見の似ているところや違うところを聞き分ける。 ・ 平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知る。
	・ 意見を聞き分けよう	3		
	・ 日本の文字に関心を持とう	2		
○ 書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう				
・ 新聞の投書を読み比べよう	6		4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み手を説得するための工夫を読み取る。
7	・ 「わたしの意見」を書こう	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 書く事柄を整理し、構成をを考えて、意見文を書く。 ・ 漢文を音読みし、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知る。 ・ 多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げる。
	・ 漢文を読んでみよう	3		
	・ 本は友達	1	2	
9	○ 詩と短歌を味わおう			
	・ いま始まる新しいいま	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 情景や心情を思いうかべながら、詩や短歌を声に出して読み味わう。 ・ 自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合う。 ・ 資料を効果的に使って文章を書く。
	・ 短歌			
	・ 問題を解決するために話し合おう	6		
・ 資料を活用して書こう	5	4		

10	○ 人物の生き方を考えながら読もう ・ 海のいのち ・ 子ども句会を開こう ・ 言葉の由来に関心を持つ	10 6 2	4	・ 物語に出てくる人物の関係をおさえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考える。 ・ 表現を工夫して、俳句や短歌を作る。 ・ 和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深める。
11	○ 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう ・ 未来に生かす自然のエネルギー	10	4	・ 資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取る。
12	○ 資料を使って説明しよう ・ 深めよう、言葉の世界 ・ 言葉は変わる	9 2	4	・ 資料を効果的に使って、分かりやすく説明する。 ・ 言葉は時代とともに変化したり、世代によって異なったりすることについて知る。
	○ 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう ・ ヒロシマのうた	6	2	・ 一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げる。
1	○ ふるさとの良さを文章で伝えよう ・ ふるさとの良さをしょうかいしよう	9	4	・ 目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめる。 ・ しょうかいしたいものの良さが効果的に伝わるように、工夫して書く。
2	・ 伝えよう、大切にしたい名言 ○ わたしたちの日本語について考えよう ・ 豊かな日本語の使い手になろう	13 11	4	・ 目的に合わせて、自分の経験と考えを簡潔に書く。 ・ 伝えたいことを明確にして、話の組み立てを工夫して話す。
3	・ 雨のいろいろ ・ 数え方でみがく日本語			・ 筆者の意見と具体例の関係に注意して二つの文章を読み、経験したことや学習したことをもとに自分の考えを書く。
	○ 未来に向かって ・ 君たちに伝えたいこと ・ 春に	4	2	・ 文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。
授業時数の合計 175時間				

国語科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとしているかどうかという観点から見ます。	・ 学習態度 ・ 学習中の応答 ・ 発表内容、発表の様子
話す・聞く能力	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたり、計画的に話し合ったりしているかどうかという観点から見ます。	・ 聞き取りメモ ・ ワークシート ・ 作文・感想文・説明文
書く能力	目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて文章に書いているかどうかという観点から見ます。	・ 日記・ノート ・ 音読の様子
読む能力	目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいるかどうかという観点から見ます。	・ 硬筆・毛筆作品 ・ テスト など
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いているかどうかという観点から見ます。	総合的に評価します。